

TALEO sub radiator for YZF-R6 (08 ~ 12)

《 Mede in Spain 》



(取付け参考)

(クリアランス確保)

(ネット保護例)

【取り付け注意事項】 写真は 07-2C0 用(08 ~ 13S 用はパイプの取回しが若干異なります)

- ・本品はレース専用部品です。一般公道では使用しないでください。
- ・ホースバンドは付属していません。STD の流用に加え、**追加分は別途ご用意ください。**
(付属のシリコンホースは柔らかい素材です。バンドの締めすぎによる破損にご注意ください)
- ・本ラジエーター背面と、エキゾーストパイプのクリアランスを確保してください。
- ・冷却水のエア抜きを充分行ってください。(サブラジエーター上部のエア抜きプラグより)
- ・本品はレース用部品に付き、クレーム&保障の対象外となりますのでご了承ください。

【製品に関するお問合せ】 有限会社 アクションクルー tel :053-466-7045 e-mail : action-crew@nifty.com

【当社確認 参考データ】

鈴鹿サーキット STDラジエター FRPカウル 水温 90

TALEO サブラジエター追加 水温 83

比較参考 BIG ラジエター(MB) 水温 81

上記仕様に、ラジエターシュラウドを追加すると マイナス2～3 。
条件により、同じ結果になるとは限りませんのでご注意ください。



参考 * クレバーウルフ製

http://www.cwr.co.jp/cathand_bparts/detail_1176.html

重要ポイント

走行風を、効率良くラジエターコア部分に通過させる。(風圧を逃がさない工夫が必要)

圧力が高まった風圧は、低いところへ流れる性質があり、高速スピード域ではスクリーン内側が負圧傾向である事から、ラジエターコアを通らず上部へ抜けてしまう。

これらを防ぐ為、ステアリング・アンダーブラケット下部に “PP板” などを用いて遮へいし、効率化を図る必要がある。

またSTDのメインラジエターと、サブラジエターにある 30m/m 程度の間隔も、同様に “PP板”などで塞ぐことにより、効率を上げる事が可能。

“飛び石” などによるラジエター破損を最小限に抑える為、ラジエター前部にアルミネットなどを用いて保護する事が望ましい。この際、ラジエターコア部分と保護用ネットの間隔を若干(数ミリ程度) 確保する事で、保護の効果が高まる。(密着させない)

またこの際、保護ネットの網目密度が高すぎるとスムーズな空気の通過を妨げる事となり、水温が上昇してしまう恐れがあるので注意が必要。(本品サブラジエターには付属)

MOTUL などから発売されている「ラジエター冷却剤」を利用すると、更に数 冷却効果が期待できます。

これらはいくまでも参考データです。使用される方が同様な効果が得られない場合でも、当社は責任を負うことが出来ません。使用者の責任において取り付け作業、メンテナンスを行ってください。